

立命館法學

2023年 第4号

論 説

- | | | |
|---|-------------|----------------|
| 地方教育行政システムの再評価（1）
——分権改革以降の地方教育行政管理の実像—— | 徳本川久
上泰彦 | 恭正人…(1) |
| 「戦車輸送阻止事件」と飛鳥田一雄 | 吉次
菊地 | 公介…(41)
史謙輔 |
| リーガル・リアリズムの（再）検討に向けて（2・完）
——序説的整理と指針の提示—— | 見菊
崎池 | 拓…(77) |
| 最高裁の黒い霧を晴らす必要性と必然性
——浮上・再浮上したわが国司法の4事例—— | 斎藤 | 浩…(121) |
| 刑罰とは何か（3）
——非刑罰的措置と対比して—— | 冠野 | つぐみ…(168) |
| 悪質・危険な運転行為に関する犯罪の日英比較（1）…方
——日本における危険運転致死傷罪を中心—— | | 牧雲…(219) |
| 譲渡担保権者偏重の私的実行手続および
留保所有権の実行手続への準用の問題点 | 生熊 | 長幸…(252) |
| ——「担保法制の見直しに関する要綱案のたたき台1(2)(3)」に寄せて—— | | |

判例研究

- | |
|---|
| 免責条項と水道法15条2項の常時給水義務
(最三小判令和4年7月19日民集76巻5号1235頁)…谷江陽介…(290) |
| 被害者の有する自賠法16条1項に基づく請求権の額と労災保険法12条の
4第1項により国に移転した上記請求権の額の合計額が自賠責保険
金額を超える場合であっても自賠責保険会社が国に対しても損害
賠償額の支払は有効な弁済に当たるとされた事例に関する考察
(最一小判令和4年7月14日民集76巻5号1205頁)…山田拓広…(314) |

書評

- | |
|---|
| 立命館大学法学叢書 第24号
松宮孝明『刑事再審制度の意味とその改革』…石田倫識…(332) |
|---|

資料

- | | | | |
|---|--------------|--------------|-----------|
| 劉憲権
メタバース空間における犯罪の
刑法的規制の新たなアプローチ | 孫松宮
柳河久秦青 | 文(訳)
(監訳) | …(339) |
| 2023年進路選択に関する学生意識調査基礎集計 | 合保木 | 至晃慶正栄 | 一樹明…(360) |

学位論文審査要旨